

昭和32年 同大学院博士課程経済学研究科入学

昭和36年 専修大学助手

昭和37年 同講師

昭和41年 同助教授

昭和47年 同教授

昭和48年 2月14日、冠状動脈血栓症にて急逝

なお、この間、昭和34年2月22日、小堺桂子さんと結婚。昭和36年7月24日、長男健君誕生。

〔所報〕

○ 第2回定例研究会〔10月14日(土)、正午より、神田如水会館〕

柴崎希美夫氏(食品需給研究センター主任研究員)「最近の食品流通問題——特に生鮮食品の流通について——」

○ 第5回事務局会議〔10月17日(火)、経済学部教授会終了後、生田図書館5階集会室〕

議題：①資料交換先について ②「産構研」研究活動について ③新特定研究について ④その他、なお、泉武夫編集部員(の教員組合委員選出)に代って9月1日より土方保所員が編集部担当となった。

○ 「産構研」メンバー会議〔10月26日(木)、正午～午後1時、生田図書館5階集会室〕

議題：①昭和46年10月～昭和47年9月迄の研究活動報告および決算報告 ②同47年10月以降研究活動計画案および予算案 ③その他

○ 第2回運営委員会ならびに第6回事務局全体拡大会議〔11月14日(火)、午後4時より、生田図書館5階集会室〕

議題：来年度新特定研究『国際環境に関する基礎的研究』への取組みについて

○ 第5回帝国主義研究会〔11月27日(月)、午後6時より、神田学士会館〕

議題：成果刊行予定について

○ 第3回運営委員会ならびに第7回事務局合同会議〔12月2日(土)午後1時より、神田学士会館〕

議題：①定例総会準備について ②新特定研究について ③その他

○ 第20回定例所員総会〔12月16日(土)、午後1時半より、生田図書館5階集会室〕

議題：①事務局(一般・各部)報告 ②本年度研究経過報告案ならび予算執行状況報告案

③来年度研究活動計画案および予算請求案 ④代表平館利雄所員「中ソ論争とその国

際政治、とくにアジア地域に及ぼす影響の理論的・実証的研究」なるテーマでの新特定研究への応募研究計画調査提出報告、⑤新任所員（商学部 齊藤秋男氏）の委嘱・紹介 ⑥所長および各部長選挙 ⑦新事務局長の委嘱 ⑧その他

以上、審議の上承認されたが、ついで任期満了に伴なう所長ならびに各部長の改選がおこなわれた結果、所長に江沢謙爾所員が三選され、第一部綜合理論部門では内田義彦所員、第二部実体部門では大友福夫所員、第三部歴史部門では森下澄男所員がそれぞれ再選された。任期は、それぞれ1973年4月より2年間である。また、事務局長には、あらたに西岡幸泰所員が委嘱された。

○ 第3回定例研究会〔1973年1月17日（水）、午後1時半より、生田図書館3階視聴覚教室〕

研究報告：西田 勲所員「ドル・犯罪・選挙——アメリカより帰って——」

○ 第8回事務局会議ならびに産構研センター合同会議〔1月30日（火）、午後3時半より生田図書館5階集会室〕

議題：①『社会科学年報』第7号刊行予定について ②「産構研」合宿研究会計画について
③その他

○ 第4回運営委員会ならびに第9回事務局合同会議〔2月16日（金）、経済学部入学試験終了後、紀伊国屋4階会議室〕

議題：① 森川喜美雄編集部代表急逝と『年報』刊行について
② 江沢所長の海外留学について
③ 「産構研」合宿について
④ その他

極めて痛恨にたえないことであるが、森川喜美雄編集部代表が2月14日夜「冠状動脈血栓症」のため急逝された。まさに名編集長として『社会科学年報』第7号（特集のタイトル『比較経済体制論』を書名として、今回新たに市販の予定）に心血を注がれ、それが旬日にして刊行されるという時点での不測の出来ごとであった。深く哀悼の意を表し、ご冥福を祈りたい。

なお、江沢所長は3月10日よりアメリカ、イギリス、ドイツを中心に約6ヶ月の予定で海外留学に出発されるため、所長の委嘱によりこの間大友第2部長が所長代理として、当研究所の運営にあたっていただくこととした。

○ 合宿研究会〔3月1日（木）午後2時～2日（金）午後1時、横浜市庁および横浜市港北区南綱島市立学校教職員互助会浜京〕

研究報告：横浜市庁企画調整局長 田村明氏「地方自治体からみた京浜工業地帯」

- 港内視察：横浜港大棧橋—京浜運河—扇島—根岸湾を横浜市巡視船おととり丸にて一巡視察
- 江沢讓爾所長は、3月10日（土）午後4時羽田空港発PANAM 800便にてN. Y. 向け離日、海外留学の途に上られた。
 - 第10回事務局全体会議〔3月11日（日）第Ⅱ部入学試験終了後、第2号館第2会議室〕
議題：①来年度事務局組織について ②『年報』第7号刊行と発送準備について ③その他
 - 『社会科学年報』第7号および『専修大学社会科学研究所月報』発送〔3月19日（月）午前3時半～午後5時〕
学生アルバイト7名の応援もえて、事務局全員が、『年報』・『月報』（第112～第113号）を、全国の研究機関ならびに研究者に発送した。
 - 第11回事務局全体拡大会議〔3月20日（火）午前10時より、大学院江沢研究室〕
議題：①来年度事務局組織について ②故森川編集長追悼集会について ③その他
 - すでに、去る1月18日に大学宛来年度社研計画書を提出し予算請求をおこなったが、急逝された故森川喜美雄編集長の学問的業績を偲び、『遺稿集』の計画を実現すべく、つぎのように追加予算請求をおこなった。

編者：内田義彦第一部長

書名：『ブルードンとマルクス』

（『年報』とおなじく未来社より刊行の予定。）

〔 編 集 後 記 〕

去る2月14日夜、突如として逝去された前編集代表森川喜美雄所員の霊に、この号をささげます。研究者として、編集者として、あるいは人間としての森川所員のそびえたつ姿は、本文の執筆者の方々によってすでに描かれており、われわれがここであらためて述べるまでもありません。ただ、死者がもはやみずから語るができない以上、生き残ったものは死者をして語らしめねばならぬ、そしてそれこそがまた歴史の意味を知るものの務めなのだとわれわれは信じています。

（Q）

神奈川県川崎市多摩区生田4764

専修大学社会科学研究所 電話（044）91-7131〔内線63〕

（発行者） 江 沢 讓 爾